

### 雑がみの分別ポイント

「雑がみ」は、新聞・雑誌・ダンボール・紙パックと同様に資源物としてリサイクルされる紙類です。しかし、中には雑がみとして出せないものもあります。これらは紙類に混入するとリサイクルに重大な支障をきたすので、ご注意ください。



▲紙袋にまとめ、ごみ集積所に出す  
**雑がみとして出せないもの**  
 感熱紙(レシート・FAX用紙)、においの付いた紙や汚れた紙、カーボン紙、紙コップ、圧着はがきなど

### ごみの減量・資源化を進めるための3つのポイント

燃やすごみに雑がみやプラスチック製容器包装類などの資源物が多く混入していません。これらを分別すること、燃やすごみの排出量を減らすことができます。

### プラスチック製容器包装類の分別ポイント

下記のプラスチック製容器包装とPETボトルの識別マークが目印です。具体的には、商品や食料品の中身を出したり、食べだして不要になったプラスチック容器、またはそれを包んでいたプラスチック包装のことです。



▲弁当の容器は、残り水ですすぐ、汚れを落とす  
 ▲ペットボトルはキャップとラベルを外し、中身を軽くすすぎ、つぶして指定袋に入れる

### 生ごみの減量ポイント



▲生ごみは水分をよく切り(写真上)、塩を振りかけると写真下、腐敗防止や臭い対策になる

### 教えて じゅんかんパートナー 雑がみの分別・減量の極意①

石川 美恵子さん

▲「私の分別をお手本に、小学生の孫も雑がみの分別方法を覚えました」と、石川さん

以前は包装紙を雑誌に挟んで出していたが、紙袋に入れて分別してみると予想以上に雑がみの割合が多く驚きました。我が家の場合、紙ごみのうち7~8割は「雑がみ」で、分別して「燃やすごみ」の量が減りました。また、生ごみは「使い切り」「食べ切り」の工夫をし、キャベツやネギなどの野菜は、買った分を全て刻み、その日に使わない部分は冷凍し、みそ汁の具などにしていきます。平成29年4月から燃やすごみの収集回数が減りますが、これを機にごみの減量に向けて楽しく工夫したいです。

### 教えて じゅんかんパートナー 雑がみの分別・減量の極意②

内山 要子さん

▲「ダイコンやニンジンできんぴらを作ると食材を使い切ることができるのでおすすめです」と、内山さん

プラスチック製容器包装類の分類は、プラマークが書いてあるので、一目瞭然です。ただし、プラスチック容器はかさばるので、ペットボトルはつぶしてから、お菓子の袋は小さく折りたたんでから指定袋に入れています。汚れの付いたお弁当の容器などは「燃やすごみ」で迷うこともありますが、さっとすすいでプラスチック製容器包装類として出しています。生ごみは新聞紙の上に乗せておく、新聞紙の吸水作用で水分がなくなり減量できるので、燃やすごみを週に1回しか出さないこともあるんです。

# 平成29年4月1日(土)から ごみの収集回数が 変わります



市では、ごみの焼却灰などを市外で最終処分していること、クリーンセンターの建て替えが迫っていることなどの課題を抱えています。そこで、さらなるごみの減量・資源化を目指し、平成29年4月1日(土)からごみの収集回数の変更を実施(左表参照)します。今号では、ごみの収集回数の変更内容及び、燃やすごみに混入している雑がみ・プラスチック製容器包装類の分別と、生ごみの減量のポイントについてお知らせします。

問 712-6317 循環型社会推進課

分別区分	現在の収集回数	変更後
① 燃やすごみ	週3回	週2回
② 燃やさないごみ	週1回	週2回
③ 有害ごみ	週1回	週2回
④ プラスチック製容器包装類	週1回	週2回
紙類	週1回	変更なし
⑤ 新聞	週1回	変更なし
⑥ 雑誌(雑がみを含む)	週1回	変更なし
⑦ ダンボール	週1回	変更なし
⑧ 紙パック	週1回	変更なし
⑨ 布類	週1回	変更なし
⑩ ビン	週1回	変更なし
⑪ カン	週1回	変更なし
⑫ 大型ごみ	随時	変更なし

	平成28年			平成29年			
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
説明会(下記参照)							→
リーフレット(分別方法・収集曜日)の全戸配布							→
ごみ集積所の看板の貼り換え							→
広報いちかわへの記事掲載							→

  

市民説明会「ごみの収集回数の削減とごみの減量・分別方法について」		
日程	時間(受け付けは必ずしも30分前から)	会場
10月19日(水)	午後7時~8時30分	行徳公民館
11月20日(日)	午後1時30分~3時	第4・5委員会室
12月17日(土)	午前10時~11時30分	西部公民館

### 今後の流れ

平成29年4月1日(土)からの収集回数変更に向け、左記の方法で市民みなさんに変更内容をお知らせします。なお、地域ごとの具体的な収集曜日は平成29年1月下旬から全戸に配布するリーフレットでお知らせします。

### 収集回数の削減で期待する効果

- ごみの減量・分別促進  
ごみの排出機会が減ること、ごみの減量・分別の意識が高まることを期待できます。
- 収集の効率化  
収集回数の削減に応じて収集を効率化し、コストを抑えることができます。